

2023年度版

環境経営レポート

私達は水道事業を通じて地球環境の保全
と地域貢献活動を推進しています



活動期間：2023年8月1日～2024年7月31日

中央水道設備株式会社



作成日：2024年8月20日
中央水道設備株式会社
代表取締役 安井英二

目次	1. 組織の概要
	2. 環境経営方針
	3. 活動組織及び役割分担
	4. 環境経営目標と実績の推移
	5. 活動計画及び結果、評価
	6. 適合法令と順守確認
	7. 代表者の見直し
	8. 活動事例紹介

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名	中央水道設備 株式会社
代表取締役	安井 英二

(2) 所在地	本社	〒385-0051
	住所	長野県佐久市中込3679-10

(3) 環境管理責任者・連絡先

責任者	鷹野 五輪
事務局	齋藤 富貴子
連絡先 TEL:	0267-62-6324
FAX:	0267-62-5600
E-mail:	s-ts6kd6dtu5tib@aa.wakwak.com

(4) 事業内容と認可内容

・管工事業、水道施設工事業	長野県知事許可（特-4）第8733号 2022年6月12日～2027年6月11日
・土木工事業、とび・土工工事業 、舗装工事業	長野県知事許可（般-4）第8733号 2022年6月12日～2027年6月11日
・宅地建物取引業	長野県知事許可（3）第5270号 2022年5月19日～2027年5月18日

(5) 事業の規模

創業:	昭和57年7月
資本金	3,000 万円
敷地面積	395 m ²
従業員	7 名

(6) 事業年度	8月 ～ 7月
----------	---------

(7) 認証登録の範囲	認証番号 12889 全事業所、全組織、全活動
-------------	----------------------------

環境経営方針

《基本方針》

当社は、水道事業を通じた環境保全活動の推進と提供品質及びサービスの向上、安全作業の徹底で、お客様並びに地域の皆様からの信頼向上を図ります。

《活動方針》

1. 事業活動において関係する法規制/条例を遵守します。
2. 電気・燃料・水の使用量の抑制に取り組み、環境負荷の低減を図ります。
3. 事業活動で発生する廃棄物の分別を徹底し、100%リサイクルを目指します。
4. 効率的で環境負荷の少ない施工に取り組みます。
5. 環境方針は全従業員に周知するとともに、定期的な学習、教育を行い、環境意識の向上に取り組み、社会に貢献します。
6. 環境経営の継続的な改善を誓約します。

2017年8月1日

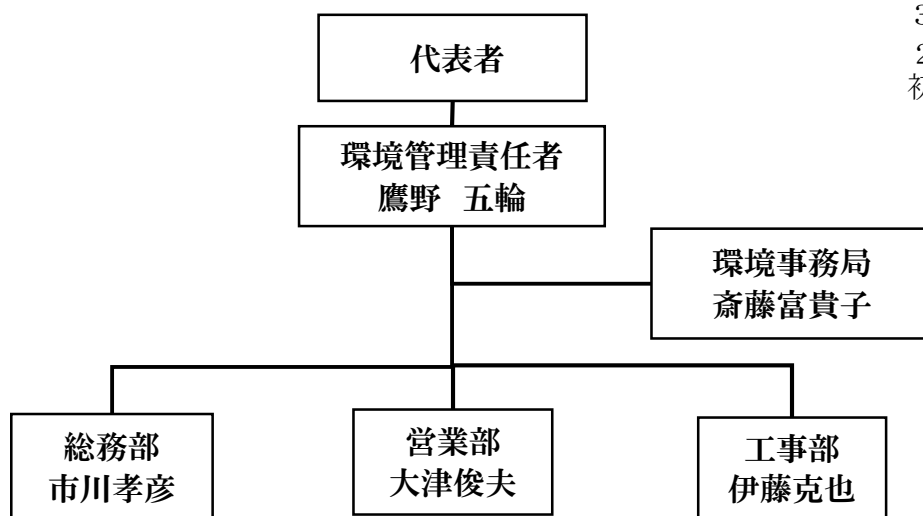
中央水道設備 株式会社

代表取締役 安井 英二

3. 実施体制

4版:2019年 6月20日

1) 活動組織図



3版:2019年 2月01日

2版:2018年12月17日

初版:2011年11月30日

※ 各テーマ別のグループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

代表者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 - 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 - 代表者による全体の評価と見直し及び指示を行う。
管理責任者	- 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視し、結果を代表者に報告する。 - 事務局からの情報を基に活動内容と問題点の確認と改善を指示する。 - 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理。 - 環境経営目標を設定し、各部門の活動計画を確認と承認する。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	- 環境管理責任者の補佐及び活動状況の把握 - 環境への負荷の自己チェック(及び環境への取組の自己チェック)、原案の作成。 - 活動計画原案の作成及び実績を取りまとめて環境管理責任者に報告する。 - 環境経営レポートの作成と公開(社内への備え付けと地域事務局への送付)
部門責任者	- 自部門に関連する環境経営目標及び活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 業務上必要な手順書の作成及び運用、管理。 - 緊急事態の想定及び対応のためのテスト・訓練の実施と問題点への対応及び記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針、環境経営目標を基に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 - 環境負荷の低減、施工品質の向上、安全の確保と業務の改善提案を実行する。 - 異常時、緊急事態発生時の通報及び初期対応を実施、結果を報告する。

環境経営目標

環境目標・取り組みの基本方針

エコアクション21環境経営システムの趣旨に沿って、引き続き取り組みを推進する。

基本に戻って環境方針及び目標を見直して再設定、取り組みの自己チェックシートの結果から活動の内容を決めた。全員参加で中期的に活動を推進し、効果を高め企業価値の向上を目指す。

1) 中期数値目標

※上段計画、下段実績と評価

環境経営目標		2019年度 (基準年)		2022年度		2023年度		2024年度		記 事
1	CO2排出量 ※1 (Kg-CO2)	42,133	目標	41,712	1%	41,290	2%	40,869	3%	電力・燃料からの 総排出量
			実績	30,953	○	46,592	×			
2	電気使用量の削減 (kWh)	7,011	目標	6,941	1%	6,871	2%	6,801	3%	事務所及び併設 倉庫の電力
			実績	4,111	○	4,539	○			
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	4,078	目標	4,037	1%	3,996	2%	3,956	3%	社有車のガソリン
			実績	3,361	○	3,074	○			
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	11,720	目標	11,603	1%	11,486	2%	11,368	3%	重機の軽油 (売上高当たり)
			実績	7,333	○	13,675	×			
5	灯油使用量の削減 (ℓ)	1,222	目標	1,210	1%	1,198	2%	1,185	3%	事務所・現場事務 所の灯油
			実績	944	○	1,011	○			
6	LPG使用量の削減 (m³)	34.4	目標	34.1	1%	33.7	2%	33.4	3%	事務所の、舗装LPGガス
			実績	45.0	×	14.4	○			
7	水使用量の削減 (m³)	73.3	計画	72.6	1%	71.8	2%	71.1	3%	事務所の水道、現場 使用水タンクの補給
			実績	100.0	×	145.0	×			
8	一般廃棄物の削減 (kg)	1,160	計画	1,148	1%	1,137	2%	1,125	3%	事務所及び現場 処理委託量
			実績	1,320	×	1,495	×			
9	産業廃棄物削減 (kg)	19,097	計画	18,906	1%	18,715	2%	18,524	3%	現場からの廃棄物 (処理委託量)
			実績	14,900	○	12,590	○			
10	環境配慮工事の施工 及び提案	2件	計画	2	-	2	-	2	-	環境に配慮した工事 の計画・施工
			実績	0	○	1	○			
11	地域の環境保全活動 への参加	2回	計画	2	-	2	-	2	-	現場及び周辺の清掃 及び活動参加
			実績	2	○	2	○			

※1 CO2排出量産出基準

購入電力排出係数は、中部電力2019年調整後 **0.426** kg-CO2/kWhを使用

5. 活動の結果と評価

	活 動 計 画	評価	取 組 の 結 果 と 評 価
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力使用量の削減		外出時、退出時の事務所内の消灯。エアコン、ストーブの温度管理はされている。
	・不要時の消灯徹底	○	
	・エアコン、ストーブの温度設定管理	○	
	・OA機器の電源オフの徹底	○	
	・照明器具、エアコンの定期清掃	△	
	2. 燃料(ガソリン/軽油)使用量の削減		引き続きアイドリングストップの徹底。オイル交換は定期的に行っている。タイヤ交換は早目に業者が来て行っている。
	・社有車の日常点検、自家用車も点検	△	
	・エコドライブ10の推進(急の付く運転禁止)	△	
	・重機のアイドリングストップ徹底	○	
	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	○	
廃棄物削減	3. 一般廃棄物の削減		・再生紙等の分別を行い、リサイクルの紙、ダンボール類は定期的に専門業者へ搬入。 ・スチール、アルミ缶、ペットボトルの分別、リサイクル 夏の飲料水の容器の排出量が多い
	・ペットボトル、缶類の分別	△	
	・コピー紙の裏紙使用	○	
	4. 産業廃棄物の分別とリサイクル		・4月に空いた時間を利用して倉庫及び敷地内の整理を行った。再利用できる材料は倉庫にて保管し、古い物から使用している
	・分別の徹底と再生利用の促進	△	
	・残余資材の活用	○	
	・3S活動(資材定位置・定量化)を推進	○	
用水	5. 水使用量削減		漏水がありすぐに自社で修理を行った。タンクに水を入れて現場へ持って行く時は使用量が多くなっている。洗濯時の節水が不十分
	・節水ラベル貼付	○	
	・洗濯機の節水	△	
G調達	6. グリーン購入活動		エコマーク商品のカタログ等での確認
	・エコマーク商品の調査と購入	△	
	・対象品に限らず環境配慮品の優先購入	△	
社会貢献	7. 環境保全活動の推進		会社敷地内及び歩道の草取りはこまめに行っている。周辺の除雪作業も行う
	・会社周辺のゴミ拾い、草取り	○	
	・現場及び周辺の環境保全	○	
	・除雪の際は会社周辺も行う	○	
業務改善	8. 環境配慮工事と施工		重機は現在まだ使用できるが検討している
	・省エネ重機への入替の検討	△	
	・月1回のミーティング	△	
	9. 環境コミュニケーション		朝礼時においてゴミの分別の確認。現場及び借地の状況の確認
	・朝礼で関連情報の伝達(月1回)	△	

環境経営目標

環境目標・取り組みの基本方針

エコアクション21環境経営システムの趣旨に沿って、引き続き取り組みを推進する。

基本に戻って環境方針及び目標を見直して再設定、取り組みの自己チェックシートの結果から活動の内容を決めた。全員参加で中期的に活動を推進し、効果を高め企業価値の向上を目指す。

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標		2019年度 (基準年)	2024年度		今後の取組
1	CO2排出量 ※1 (Kg-CO2)	42,133	目標	40,869 3%	燃料消費削減を重点目標
			実績		
2	電気使用量の削減 (kWh)	7,011	目標	6,801 3%	外出時の消灯の確認
			実績		
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	4,078	目標	3,956 3%	重機、車両の入替時には低燃費を考慮して購入
			実績		
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	11,720	目標	11,368 3%	重機、車両の入替時には低燃費を考慮して購入
			実績		
5	灯油使用量の削減 (ℓ)	1,222	目標	1,185 3%	ストーブの温度管理の徹底
			実績		
6	LPG使用量の削減 (m ³)	34.4	目標	33.4 3%	コンロの湯沸かし注意
			実績		
7	水使用量の削減 (m ³)	73.3	計画	71.1 3%	現場での水調達の推進 洗濯機のすすぎの水流し注意
			実績		
8	一般廃棄物の削減 (kg)	1,160	計画	1,125 3%	ペットボトルの分別 リサイクル
			実績		
9	産業廃棄物削減 (kg)	19,097	計画	18,524 3%	プラスチック、金属分別の徹底 リサイクル
			実績		
10	環境配慮工事の施工 及び提案	2件	計画	2 -	朝礼時に話し合い、できることから活動を行う
			実績		
11	地域の環境保全活動 への参加	2回	計画	2 -	環境責任者が考えて朝礼時に提案する
			実績		

※1 CO2排出量産出基準

購入電力排出係数は、中部電力2019年調整後

0.426 kg-CO2/kWhを使用

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容、

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (―:判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、 廃プラ、廃油等)の適正処理	契約書・許可書	○
		マニフェスト	○
騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	届出書	○
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	届出書	○
下水道法	使用時の申請	届出書	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の修理・処分	点検表・引取証明書	○
消防法(危険物)	少量危険物の貯蔵(防油堤)と取扱い	オイルフェンス設置、等	○
道路交通法	道路における工事・作業の許可申請	道路使用許可申請	○
労働安全衛生法	使用化学物質のSDS入手と掲示	SDS掲示	○

※事業規模、等から適合されないものもあるが、取り組み対象として推進する。

※環境関連法については登録チェックリストにより、2024年8月20日 管理責任者
鷹野が確実に法規を遵守していることを確認しました。

(2) 違反及び訴訟の有無

過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

8. 代表者の評価と見直し・指示

【取り組みの評価】

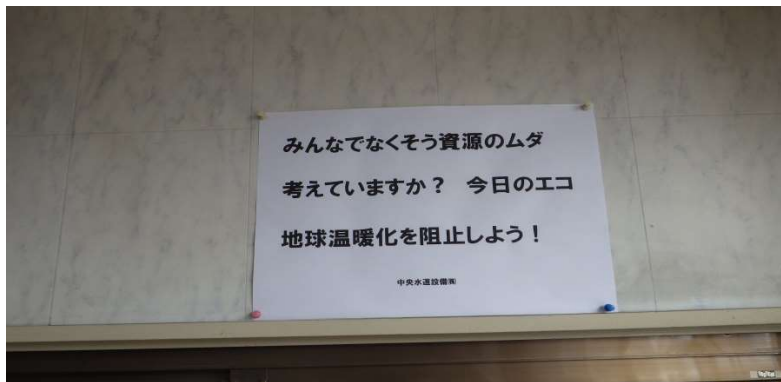
当期は、水道本管工事の受注が続けてあったため、工事量が増えて軽油の消費量も増えました。CO2排出量も前年比多くなっていますが、現場においては監督を中心にエコアクション活動を考えて仕事を行っています。昨年同様この夏も猛暑が続き、熱中症対策に気を付けて作業を進めています。

【今後の取り組みと指示】

エコアクション活動の重点目標である、燃料消費削減、廃棄物の分別リサイクル、を中心として引き続き仕事を行っていきたいと思います。電気料や燃料代も高止まりしており、人件費、材料費も上がっているため利益を確保するのが大変な時期になっていますが、社員皆で協力して業務を行って行きましょう。

9. 活動事例紹介

エコのスローガンと掲示



ダンボール専用



倉庫内の整理整頓



北中込駅前広場等除雪作業



会社及び周辺の除草作業



現場事務所周辺整理清掃

